

## Q. Microsoft 365/Office 365のOffice「Microsoft 365 Apps」は2ライセンスを契約すれば、10台のPCで利用できますか？

A. Microsoft 365/Office 365のライセンスは「利用ユーザー」に紐づく「ユーザーライセンス（ユーザーサブスクリプション）」のため、ライセンスの契約数は「利用する人数」に基づいて判断します。

以下に具体的な例を3つ挙げます：

**【例1】「利用人数が5名」で、「各自が2台ずつの自分用のPC」を利用する場合**

⇒Microsoft 365 Appsは「**5ライセンス**」が必要（5ユーザー分のライセンス、そして1ユーザー5台の利用範囲に収まる利用）

**【例2】「利用人数が2名」で、「各自が5台ずつの自分用のPC」を利用する場合**

⇒Microsoft 365 Appsは「**2ライセンス**」が必要（2ユーザー分のライセンス、そして1ユーザー5台の利用範囲に収まる利用）

\*お客様のM365管理者が、各ユーザーに1つずつライセンスを割り当てたM365アカウントを配布し、各利用者はM365 Appsを使用できます。

**【例3】「利用人数が1名」で「常時自分用の10台のPC」を利用する場合**

⇒Microsoft 365 Appsは「**2ライセンス**」が必要

（M365 Appsは1ライセンスで最大5台のPCまたはMacで利用可能なため、1人が10台のPCを利用する場合、M365 Apps は、2ライセンス必要。）

\*M365ユーザーアカウントに、同じM365 Appsライセンスを2つ割り当てることができないため、M365ユーザーアカウントを1人2つ用意します。

※「Microsoft 365 Apps」ライセンス利用時のその他の注意事項※

・1つのライセンス/Microsoft 365ユーザーアカウントを複数の人間で共有する、あるいは使い回しをする行為はライセンス違反です。

・「共有PC」の利用ケースでは...

「共有PC」を利用する「全ユーザー」に「Microsoft 365 Apps for enterpriseを含むプラン」（または「Microsoft 365 Business Premium」契約が必要となりますが、「共有コンピューター用のライセンス認証」を設定することで1ユーザー5台の利用制限（利用端末のカウント）を解除する対応方法もあります。

Microsoft 365/Office 365のOfficeの利用する人と端末の関係を明確にし、適切にライセンスをご契約ください。

**Q. Application GatewayのWAFにてIPアドレスを制限したいのですが、IPv6はサポートしていますか。**

**A. 下記公開情報に記載の通り、Azure Application Gateway では、現在 IPv6 をサポートしておりません。**

◆[参考]Azure Application Gateway を使用してパブリック IP アドレスを管理する - 注意事項

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/azure/virtual-network/ip-services/configure-public-ip-application-gateway#caveats>

現時点では、パブリック IPv6 アドレスは Application Gateway でサポートされていません。